

【出題意図】

看護において、客観的な医学の知識と併せて、患者の主観的な社会・心理的側面への配慮は不可欠である。医療の現場のパラダイムシフトに対応して医療の役割を思考し、自身の考えを表現する総合能力をみるため、「①読解力」・「②論理性」・「③思考力」・「④表現力」に加えて、「⑤-1：指定字数での文書の要約力」, 「⑤-2：論拠の矛盾」, 「⑤-3：医療・看護従事者となる上での適切性（理解や考えが常識的で妥当であること）」などの観点から総合的に評価できる問題とした。

【解答】

問 1 ① 変容 ② 公衆衛生 ③ 尊厳 ④ 移行 ⑤ 弊害

問 2 採点基準

- 1：健康観の変化，医療の役割（治療のみならず予防・健康を高める支援，医療の場の拡大）について述べられているか。
- 2：キーワード（QOL／生活の質，疾病予防，主観的，社会的弱者，福祉の視点）もしくは，キーワードに類似する語が記述されているか。
- 3：文章表現や構成に不適切な部分がないか。
- 4：字数制限の 9 割以上記述しているか。
- 5：誤字や脱字がないか。

問 3 採点基準

- 1：課題文の内容をふまえて述べられているか。
- 2：「健康を高め強化する要因」の例をあげ、健康に対する自らの考えが述べられているか。
- 3：論理的に述べられているか。
- 4：文章表現や構成に不適切な部分がないか。
- 5：字数制限の 8 割以上記述しているか。
- 6：誤字や脱字がないか。